

令和3年4月15日

全日本大会出場校選出予選会 要綱

【出場校決定方式】(全日本6校・清瀬杯4校)

1. 関東地区大学準硬式野球選手権大会(以下関東大会)優勝校は、全日本大学準硬式野球選手権大会(以下全日本大会)出場権を無条件で獲得(全日本1校)
2. 全日本大会及び清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会(以下清瀬杯大会)の出場予選会を行う。

(1) 1次トーナメント

5リーグ優勝校および関東大会準優勝校による試合を行う。勝利校3校は、全日本大会出場権を獲得(全日本3校)

なお、A・B・C、3ブロックともすべて抽選とし、シードは設けないものとする。

(2) 2次トーナメント

1次トーナメント敗戦校(3校)および5リーグ2位校(5校)によるトーナメント戦を行う。なお、2ブロックともすべて抽選とし、シードは設けないものとする。

Dブロック、Eブロックの優勝校が全日本大会出場権を獲得(全日本2校)

Dブロック、Eブロックの準優勝校が清瀬杯大会出場権を獲得(清瀬杯2校)

(3) 敗者復活トーナメント

2次トーナメント1回戦敗戦校(4校)による敗者復活戦を行い、勝利校(2校)が清瀬杯大会出場権を獲得(清瀬杯2校)

3. 予選会出場資格が重複した場合の繰り上げ出場について

(1) 関東大会優勝校とリーグ戦優勝校が重複した場合の取り扱いについて

リーグ戦優勝校に代わり、リーグ戦2位校が1次トーナメントに出場する。この場合2次トーナメントには、リーグ戦2位校に代わり、リーグ戦3位校が出場する。また、この場合においてリーグ戦2位校又は3位校が既に準優勝校の出場が確定している場合は、リーグ戦4位校が2次トーナメントに出場する。

(2) 関東大会準優勝校の取り扱いについて

① 関東大会準優勝校とリーグ戦優勝校が重複した場合、関東大会準優勝校に代わり、関東大会3位校が1次トーナメントに出場する。

② 上記①に加え、関東大会3位校とリーグ戦優勝校が重複した場合、関東大会3位校に代わり、関東大会4位校が1次トーナメントに出場する。

- ③ 関東大会準優勝校、3位校、4位校がいずれもリーグ戦で優勝した場合は、関東大会優勝校所属リーグにおいて、リーグ戦2位校が1次トーナメントに出場する。この場合、2次トーナメントには、リーグ戦3位校が出場する。また、上記①により既にリーグ戦2位校が1次トーナメントに出場が決定している場合は、リーグ戦3位校が1次トーナメントに出場、2次トーナメントには、リーグ戦4位校が出場する。

※本年度は、関東大会準優勝校が東都大学リーグ2部の國學院大學でしたので、リーグ戦優勝校と重複することはありません。國學院大學が1次トーナメント出場校となります。

4. 選手登録について

試合当日は、選手25名以内とするが、予選会前に選手を限定することはない。関東連盟に5月末日までに登録されている選手の中から、当日25名以内を記載してオーダー表を提出すること。

ベンチ入りは、部長1名、監督1名、コーチ2名、主務1名、スコアラー1名、トレーナー1名（ユニホーム不可）、選手25名以内とする。全て登録済みの者に限る。出場する11校分の、登録選手チェック用リストは、事務局で準備する。

5. ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。攻守は試合前にジャンケンで決定する。試合の成立は5回ではなく、7回とする。試合は9回で終了し、同点の場合はタイブレイク（無死1・2塁）で勝敗を決することとする。なお、打順は継続する。点差によるコールドゲームを採用、5回10点差、7回7点差とする。DH制、申告敬遠制を採用する。守備側がタイムをかけてマウンド付近に集まる回数は合計4回までとし、監督・捕手・野手が1人で投手の所に行っても1回にカウントされる。

※本要綱に規定がない事案の解決について

本要綱で解決しがたい事案が生じた場合は、技術審査委員会・大会運営委員委の合議により解決するものとする。